

お知らせ 「国際連携 PFAS ラボ 666 (トリプルシックス : エーレブルー大学 - 産総研)」について (2025 年 4 月 14 日更新)

大企業で続々と設置されている「PFAS 研究ラボ」の立ち上げを加速するために、「6 人の PFAS 専門家」が 2025 年 1 月より来日し、「6 か月間」産総研に常駐、「6 つの PFAS 問題の解決」を図ります。

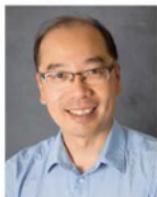
1. PFAS の発生源特定技術
2. PFAS の材料・製品分析技術
3. PFAS の除去・分解技術
4. PFAS の代替物評価技術
5. PFAS の地球規模挙動解析技術
6. 製造業再興に関わるシークレット技術

国内では未だに「PFAS 発生源不明」報道がほとんどであり、紙パルプの肥料化による土壤汚染、大気中 PFAS の森林吸収による地下水への供給、極域での光化学的二次生成等、科学的にも興味深い PFAS 環境動態研究が常態化している海外とは雲泥の差です。

知識のアップデートがされていない国内有識者ではなく、FORMAS/PARC/LIFE-SOURCE 等、国外政府レベルの PFAS プロジェクトリーダーや、先のダイオキシン国際会議での受賞経験もある「若手専門家」たちが、世界で最も進んだ PFAS 対策技術をコンソーシアム会員へ提供します。

PFAS 処理・計測・代替技術全てをカバーする海外専門家チームのノウハウを吸収する事で、国内 PFAS 問題のほとんどは速やかに解決可能ですので、会員の皆様の事業計画にもご利用ください。

トリプルシックス 以後、会員の要望に合わせて様々な海外専門家を順次招へいし、国内 PFAS 問題解決に貢献しますので、ご期待ください。



(2025 年 4 月 3 日更新)

5 月 22 日(木曜日)に下記発表会を開催します。

開催日(2025 年 5 月 22 日, 13:00 より, 産総研臨海副都心センター(東京都江東区青海 2 丁目)にて開催) 環境研究総合推進費 5-2401(環境中 PFAS の包括的評価を目指した総 PFAS スクリーニング測定技術の開発)に関する研究発表会 /「国際連携 PFAS ラボ 666 (トリプルシックス)」研究発表会。聴講無料、事前登録必須、申し込み先 :PFAS 対策技術コンソーシアム事務局 (pfas.info@campuscreate.com)に

トリプルシックスに新たな研究者が参加しました。下記新プロジェクト情報です。現メンバーは 6 月末までの在外研究ですが、今後も交代制でトリプルシックスの優秀な外国人研究者の常駐を予定していますので、コンソーシアム会員の相談内容に柔軟な対応が可能です。

FORMAS Project

Applicant: Felicia Fredriksson

Project title: Examining volatile fluorine emission, including fluorinated greenhouse gases, in the atmosphere: sources, fate and toxicity – Is thermal remediation an indirect source? How can we prevent it?

Project period: 2025–2028

Amount awarded: 5,54 M SEK

トリプルシックスに新たな研究者が参加しました。下記参考。

Daichi Asakawa, Huiju Lin, Yuefei Ruan, Sachi Taniyasu, Leo W. Y. Yeung, Toshiki Tojo, Makiko Ichihara, Eriko Yamazaki, Nobuyasu Hanari, Paul K. S. Lam, Nobuyoshi Yamashita. Characterizing Seasonal Patterns, Gas–Particle Partitioning, and Potential Sources of Airborne Per-and Polyfluoroalkyl Substances in Japan, Environ. Sci. Technol. 2025. <https://doi.org/10.1021/acs.est.4c14109>